

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要  
(平成30年度 第1回)

○開催日時 : 平成30年7月12日(木) 15時15分～16時00分

○開催場所 : 秋葉原カンファレンスセンター

○出席委員

委員長	川村 英二	弁護士
委員	桑野 玲子	東京大学 生産技術研究所 教授
委員	田中 仁	東北大学 大学院工学研究科教授
委員	宮崎 哲	公認会計士

(委員は五十音順)

○議事概要

(1) 平成29年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス報告書について

【主な質問及び回答】

- 入札契約手続きの見直しとして簡易公募型プロポーザルの導入と電子入札方式を採用したことで、逆に不具合が出ているということはないか。  
→ デメリットなく業務の効率化が図られたものである。

【各委員からの主な意見】

- 新規ガイダンスの未受講者が自習したかをチェックし、未実施者は次年度受講させる等の対応をしていただきたい。
- 個別受講が可能なeラーニングの取組み例があるので、検討いただきたい。

【総評】

- 平成29年度コンプライアンス推進報告書の内容については、ほぼ順調に計画どおりに実行している。

(2) 平成30年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画について

【主な質問及び回答】

- パワハラについて推進計画に入れて、積極的に取り組み配慮していることを表明していいのではないか。  
→ 推進計画では、発注者綱紀保持を重点的に取り組み、官製談合や入札契約に関する不祥事を予防していることを主に考えている。

- 研究者は働き過ぎる傾向があると思うので、勤務時間管理はより留意したほうがいい。所として働き方の取組、例えば、適正な勤務時間管理がなされているのか。  
→ 勤務時間管理は別の場面で取り組み、整理している。政府全体のワークライフバランス推進月間にも当所として対応している。当所として管理し、細かなところは指導していく。

【各委員からの主な意見】

- 情報漏洩や重要な不祥事事案がなかったかを内部的に確認したうえで、研修・講習の効果があったのかどうかを自己点検と組み合わせる等して、把握していただきたい。
- 談合情報嫌疑事案についての問合せ窓口をホームページに掲載することによって、談合等の不祥事つながるものはなかったことが確認できる。検討いただきたい。

【総評】

- 平成30年度コンプライアンス推進計画の内容については、了解した。